

第3次 東近江市地域福祉活動計画

「東近江市地域福祉活動計画」は、東近江市に暮らす高齢者や障がい者、子どもをはじめ、すべての住民が支え合い、安心して暮らし続けることができる『福祉のまちづくり』を進めていくための計画です。

「地区住民福祉活動計画」「地域福祉推進計画」「基盤強化計画」の3つの計画で構成しています。

地区住民福祉活動計画

住民がすすめる福祉のまちづくりの目標であり、活動していくための計画。
市内14地区でそれぞれに、福祉活動やまちづくりに携わる住民のみなさんと策定。
住民の「こんな地域にしたい」という思いや、「地域らしさ」をカタチにしたもの。

地域福祉推進計画

東近江市社会福祉協議会が住民や様々な団体・関係機関とともに、市域で地域福祉活動を推進していくための計画。

スローガン

つながりと地域愛でつくる
ふだんのくらしのしあわせ

- 目標① ふだんのくらしの場で一人ひとりが誰かとつながれる機会や場づくり
- 目標② 困っている人をほっとかない支え合える地域づくり
- 目標③ 一人ひとりを知り、理解し合うための福祉共育
- 目標④ 困りごとの解決に向けたネットワークの構築
- 目標⑤ 命と暮らしを支える社協の相談支援体制の強化
- 目標⑥ 福祉のまちづくりをひろげる情報発信
- 目標⑦ 福祉のまちづくりを推進するためのサポート

基盤強化計画

地域福祉を推進するために必要な、東近江市社会福祉協議会の組織や体制のあり方を示し、その基盤の強化をすすめるための計画。

《市辺地区住民福祉活動計画》

策定：市辺地区住民福祉活動計画推進会議

編集・発行：社会福祉法人 東近江市社会福祉協議会

(Tel 0748-20-0555 IP 0505-801-1125 Fax 0748-20-0535)

第3次 市辺地区住民福祉活動計画

“つながり”で結ぶ市辺の絆

令和4年度～令和8年度



「市辺地区住民福祉活動計画」推進会議
市辺の地域福祉を考える「市福みらい会議」
社会福祉法人 東近江市社会福祉協議会

市“つながり”で結ぶ市辺の絆



よってみてカフェこぼし



船岡中学校生徒会との懇談会

市辺地区に住む誰もが、“暮らしやすく住み続けたいと感じられる”まちづくりを進めていくための目標を示したものです。1次・2次計画では、「人や地域のつながり」を大切にしながら、子どもたちへの登下校の見守り、認知症への理解を深める機会、中学生と地域の大人との懇談会、誰もが集い交流できる場づくりなど、様々な活動が展開されてきました。第3次計画では、これまで培ってきた、人・自治会・各種団体のつながりを改めて見つめ直し、今あるつながりをさらに広げ、深められることで、福祉のまちづくりをすすめていきましょう。

大事にする・発見する

人とのつながり

- * 日頃のあいさつ、犬の散歩などふだんの暮らしの中にある機会や自治会、各種団体の活動などを通して顔のみえる関係をつくりましょう
- * 日々の何気ない会話や声掛けから気にかけて関係や「ちょっと助けて」が言える関係をつくりましょう
- * 趣味や好きなこと、生きがいを通じて仲間を増やしましょう

自治会同士のつながり

- * 災害時やいざという時にも助け合える、自治会のつながりをつくりましょう

各自治会で取り組んでいる事の情報交換をし、さらに自治会活動を広げ、盛り上げましょう

団体同士のつながり(連携・協働)

- * 私たちのまちをより一層、住みやすくするための活動やその思いを知り、それぞれの団体が持つ強みを活かし合えるつながりをつくりましょう

各団体がつながり、強みを活かし合い、知恵を出し合う(コラボする)ことで、地域福祉活動を継続し、さらに広げていきましょう

ひろげる・発展させる

話し合いの場・学び合える場づくり

- 地域福祉について話せる場の開催**
 - みんなで考え、力を合わせて取り組むための話し合いの場をつくりましょう(市福みらい会議 など)
- みんなでワイワイとフリートークできる場の開催**
 - 市辺の良さや課題、気になっている事など、一人ひとりが感じている事を話し合い、想いを共有しましょう
- 地域 みんなが学び合える場の開催**
 - 認知症や障がいを理解するため、学習の場を増やしましょう
 - 各種団体が行っている研修を、みんなで学び合える機会にしましょう
- 若者との懇談会の開催**
 - 若者と地域の大人、互いの想いを知り合い、若者の想いを地域活動に活かしましょう(中学生懇談会 など)

発信・共有でききっかけづくり

- 地域にあるつながりや社会参加の場を再発見し、発信しましょう
- 地域活動、役の魅力ややりがい、必要性を発信しましょう
- 地域の情報をみんなで共有し知り合うことで、地域とつながるきっかけをつくりましょう

自分の好きなことで誰もが地域とつながる機会づくり

- 趣味や好きな事を活かし合える機会をつくりましょう**
 - 趣味や好きな事、培ってきた知識を活かす機会をつくりましょう
 - 得意を持つ人と活かせる場をつなぎましょう
- 生きがいを感じられる機会をつくりましょう**
 - 農地を貸す・技術を伝える人と畑をしたい人をつなぎ、農業や畑を通じて、イキイキできる機会をつくりましょう

色々な人と様々な目的で出会う機会や場づくり

- 健康づくり・フレイル予防**
 - 心身ともに、元気に生活するために、様々な集う機会を活かし、健康につながる啓発や機会を増やしていきましょう
- 多世代や様々な人が交流できる機会づくり**
 - グラウンドゴルフなど、みんなができることで多世代が集える・交流できる機会をつくりましょう
 - 介護者や障がいがある方など、同じ境遇の人が、嬉しかったことや困ったことを話せる機会をつくりましょう
 - 学生や教育機関と住民がつながる機会をつくりましょう
- 一人ひとりが居心地の良いと感じられる多様な“居場所”づくり**
 - 高齢者が元気を確認し合える機会や外出する機会づくりの継続、さらに広めましょう(ふれあいサロン など)
 - みんなの集う場を継続しましょう(よってみてカフェこぼしなど)
 - 子どもを中心に、気軽に集まり、過ごせる場をつくりましょう

見守り・助け合い

- 見守り・助け合いの気持ちを大事にしましょう**
 - 困りごと、気になったことを相談できる人やつなぎ先を知る・共有し、困りごとをほっとかない地域にしましょう
- “何かできる”と困りごとをつなぐしくみをつくりましょう**
 - 野菜や食材など、必要な人に必要なものを届ける、おすそ分けのしくみをつくりましょう
 - 暮らしのちょっとした困りごとを、地区全体でサポートできるしくみをつくりましょう



地域活動に関わっている人や活動を大事に、一人ひとりができること・できる形で地域福祉活動を進めましょう！
コロナ禍で今までの活動が難しい中でも、工夫しながら活動を継続・再開・開始できるよう地域の理解や活動をサポートしましょう！

